

◆全国高等学校総合体育大会

第55回 全国高等学校弓道大会

女子個人、樋口（檀原）さん 6位入賞

男子団体、檀原高が昨年の優勝に続き、4位入賞

高体連：高塚

7月28日（水）～31日（土）に沖縄県立武道館（那覇市）で開催。奈良県代表の成績は以下の通り。

29日 予選

男子団体 檀原高校 20射11中 予選通過  
（丸・津田・小西・高間・山本・坂口）

女子団体 檀原高校 20射 9中 予選敗退  
（山本・藤田・樋口・近藤・加藤・平田）

男子個人

多田 京平（五條） 予選敗退

高間 光司（檀原） 予選敗退

女子個人

峠谷 亜由（奈良大附属） 予選敗退

樋口 若奈（檀原） 予選通過

30日 男子決勝トーナメント1回戦

作新学院9中 — 檀原13中

女子個人戦準決勝

樋口 若奈（檀原） 4射3中 決勝進出

女子個人戦決勝

樋口 若奈 ○○×遠近 6位入賞

31日 男子決勝トーナメント2回戦

津工業13中 — 檀原15中

男子決勝トーナメント準々決勝

檀原17中 — 高岡15中

男子決勝トーナメント準決勝

八代工業17中 — 檀原13中

3・4位決定戦（10射）

加治木工業8中 — 檀原7中

なお、これに先立ち県内予選が6月に行われましたが、その結果は；

▽男子個人：①多田 京平（五條）

②高間 光司（檀原） ③新 健吾（桜井）

▽女子個人：①峠谷 亜由（奈良大附属）

②樋口 若奈（檀原）③上野 裕恵（五條）

▽団体男子：① 檀原（丸・津田・小西・高間・山本・吉村）② 高田商業（前川・松尾・栗村・林田・渡邊・本川）③ 王寺工業（古川・向本・中井・寺澤・為平・下村）

▽団体女子：① 檀原（山本・石橋・樋口・近藤・加藤・藤田）② 五條（中上・松村・松田・辻本・岡島・木村）

③ 高田商業（竹花・鶴谷・仲村・中家・生田・松村）



No. 16

終戦から65年、今年はたまたま、7月8日～10日に範士研修会で長崎へ、また8月7日～8日には広島県弓道連盟の講習会で広島へとあいついで原爆被災地に行く機会がありました。原爆の爪痕を見るに付け、平和の大切さを痛感してきました。

こうして、弓の引ける事も奇跡的な事かも知れません。先人への感謝の気持ちを忘れずに、日々を送りたいものです。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆第61回奈良県中学校総合体育大会

2010年7月21日（水）会場 檀原公苑弓道場

【団体戦】

▽男子

① 香芝中学校Aチーム（倉角・竹岡・村岡）23中

② 八木中学校Aチーム（福岡・小西・杉井）22中

③ 八木中学校Bチーム（高井・子日・村島）21中

▽女子

① 香芝中学校Aチーム（前田・宮崎・葛井）21中

② 檀原中学校Cチーム（平松・西村・奥村）17中

③ 檀原中学校Dチーム（米谷・松田・若林）17中

【個人戦】男子：① 倉角 哲也（香芝）

女子：①山本 奈実（香芝）

この結果、優勝チーム、個人は第7回全国中学生弓道大会（8月21日、22日）に出場します。前年度、男子団体の部で優勝しているだけに今年も期待がかかりますが、是非頑張ってもらいたいと思っています。（中体連：藤原 淳）

■第228回地連審査結果

（7月19日 檀原公苑弓道場）

合格者は、2級6名、1級27名、初段27名、三段5名、参段7名、四段は徳田四郎さん（奈良支部）が合格されました。審査後の審査員からは、

・高校3年生の特別受審者の技術的レベルの差が大きかったこと。・ハズを保って立ち上がるとき、乙矢が少ししか出ていない高校生が多かった。（目安としては10Cmぐらいが基準です）・参、四段受審者の入場では、足の運びが理解されていない者、礼の対象が認識できていない。等の意見が出されていました。指導者のみなさご指導をお願いします。なお、8月の審査では141名が受審されます。（審査部：土谷 尚敬）

## ■全日本選手権近畿予選会に参加して

布目： 吉本清巳

去る7月18日に明石の道場にて、全日本選手権の近畿予選会に出場しました。前日までの連日の大雨から一転、かなり蒸し暑い一日となりました。

9時前に会場につき、10時に開会しました。兵庫の林会長の拝礼、御挨拶あり、その後、審査委員長の和歌山の鈴木会長より、ルール変更の報告がありました。例年、決勝は10射的的中で争いますが、今年は6射に減らして、かつ予選の点数を持ち越して、1本に付き10点の点数を加算し総合点数で競う方式に変更になりました。

10時30分頃から試合が始まりました。男女18名ずつですので、男子5,5,4,4人の4立ち、女子の5,5,4,4人の4立の順でした。奈良県のトップは立ち順4番の西中理事長でした。私は8番で2立目でした。明石の弓道場は床がよく滑ります。ところが射位の付近だけどういいうけかワックスがあまく、滑らない箇所があります。左足の方はワックスが効いていて滑るのに、右足は滑らないという状態はかなり引きにくかったです。会の攻め合いと離れに集中して望みました。一立ち目は幸いにも束中しました。

次の立ちで、藤岡さんが引かれて、男子の行射の後、女子の競技が始まりました。松村さん、吉岡さん、榎田さんの順に登場されました。緊張と猛暑の中、引くたびにぐったりするようなしんどい試合です。みなさん、頑張っておられました。

昼食休憩の後、午後から予選が再開されました。3本目は弓手の攻めがあまく前に外しましたが、最後の一本は、自分なり納得できるまあまあの射が出ました。

予選が終わって、結果が点数とともに張り出されました。決勝進出は厳しいと思っていましたが、幸いにも決勝に進出することができました。奈良県では西中さんと私が決勝に進出しました。

あとは、自分の射に集中するだけと、決勝に臨みました。決勝は、じっとしているだけで汗が吹き出てくるとも暑い時間帯でした。最初の4本は甲矢を外して乙矢を当てる悪循環になってしまい、気を取り直して最後の立ちに望みましたが、2本とも後ろに外してしまいました。後で気づきましたが、暑さのため、にべ弓の弓力がかなり落ちており、それに対応できていませんでした。結果、決勝は6射2中と奮いませんでした。

本戦出場はあらかじめでしたが、すべて引き終わってから、改めて点数を確認したら、次点の選手との点差の関係で、かろうじて点数で3位に残っていました。ルール改正に助けられた形で、本戦に進むことができました。予選1位の京都の澤端さん(教六)は予選も決勝も1本も外さずの1位通過で、西中さんは6射4中の堂々の2位通過でした。➤

女子では京都の川口さん(教六)、大阪の北川さん(教六)、和歌山の川村さん(教六)が本戦に進まれました。表彰式では、賞状は無く、全日本の要項と申込用紙が入った封筒をもらうだけでしたが、その封筒をもらって、ようやく予選を通過できたんだと実感が湧いてきました。

今回の予選会では、私自身は出来すぎた感がある、まだ全日に出るには未熟なところが多いと思っていますが、ずっと目標にしていた全日本選手権に出場する機会を頂きましたので、本戦では精一杯がんばってこようと思います。暑い中、奈良県からもたくさん応援に来ていただいて、ありがとうございました。

## ■平成22年度 奈良県女子講習会

女子部： 辰巳 好美

7月11日、橿原公苑弓道場にて女子講習会を開催しました。(参加者51名)

講習会に先立ち、吉本会長から「教わる心構え」「思いやりの心」についてお話がありました。そして、女子ならではの講習会にしてくださいとの言葉もいただきました。

限られた時間ですので、見取り稽古を特に大事にして臨みました。また、質疑応答では、女子ばかりなので話せるような内容もあり、非常に盛り上がりました。それぞれの疑問が解決できたのではないのでしょうか。

最後は時間の関係で、一本での仕上げ行射になりましたが、みんな今日一日の成果を込めて行射しました。梅雨明け前の蒸し暑い中、ご指導くださいました講師の深田先生、明瀬先生、松村先生、本当にありがとうございました。

## 〈女子講習会に参加して〉

橿原弓道教室： 白井 礼子

今年も暑い中、多くの女子が参加し、熱気あふれる講習会になりました。一手行射の後、講習会の受け方やゼッケンの付け方、入退場の仕方など細かい点にわたり、教えていただきました。特に今回は、襷さばきのほかに、和服を着用したときの工夫などを、深田先生がご自身の和服でもわかりやすく教えてくださいました。衿を抜かずに着ることや和服の着丈のことなど大変勉強になりました。以前、増田美和栄先生が、「もしも袴を外しているときに何かあっても、和服を着丈に着ていれば恥ずかしい思いをせずに対処できる。」と言っておられたということを知り、日常の大切な心得だと思いました。

また、今回初めて第一介添えをさせていただきました。手の位置など指導していただいたところを稽古して頑張ります。今後は、この講習会で学んだことをしっかり身につけるよう稽古をしたり、参加できなかった女子の方にも伝えたりし、共に成長していきたいと思えます。

暑い一日でしたが、とても充実した有意義な講習会でした。講師の先生方にお礼申し上げます。ありがとうございました。

◆第22回奈良市弓道近的選手権大会 兼

第1回会長杯争奪戦

奈良市：新司 正人

8月8日、奈良市弓道場において標記の大会が開催されました。今年から新たに会長杯をつくり、男女最多的中者に授与されました。

これは奈良市弓道場が昨年竣工30周年を迎えるにあたり、奈良市に床の改修費を寄付した結果、改修が実現し、また、それに合わせ協会員の手で安土の整備を行い、照明器具の改修、矢を通さない幕の寄付等を受け、そこで当初市長杯の御下賜を考えていましたが、昨今の財政事情から叶わず、会長杯とし、竣工30周年の記念にしました。

これからも我々の道場として、出来る限り快適な環境のもと使用できるように協会員一丸となってやっていきたいと思えます。

当日の案内は、奈良市内の高校、大学にも行いましたが、夏休みでもあり、西の京高校のみの参加で、無段の部10名、初・二段の部12名、三・四・五段の部23名、称号者の部20名の参加がありました。暑い中、真剣な眼差しで的に向い、暑さを吹き飛ばす熱戦が繰り広げられ、男子の初代会長杯獲得者は8射皆中でした。結果はつぎのとおりです。

☆無段の部：①堤野将弘（西の京）②岡 佑太（同）  
③出口慎一（同）

☆初・二段の部：①武宮 誠 ②斉藤頭一 ③ 増田勝蔵

☆三・四・五段の部：①一瀬尚樹 ②加藤敬子  
③土谷ひろみ

☆称号者の部：①眞鍋征史 ②松岡豊和 ③中嶋義久

☆無段の部優秀賞：深見友美

☆会長杯：

男子：一瀬尚樹（8中）

女子：加藤敬子（6中）



■土用稽古 開催される

奈良市：新司 正人

平成22年7月9日（金）から11日（日）にかけて恒例の土用稽古が奈良市弓道場において午前6時～7時までで開催されました。

これは、奈良市武道振興会が剣道、柔道、弓道、なぎなた、宝蔵院流槍術、また参禅会に声をかけ、冬には寒稽古、夏は土用稽古を実施しています。

暑さや眠気を我慢し、精神の錬磨を目的とし毎年行っており、小学生から高齢者まで全体で約1400名（3日間）の参加者を数えています。

我が弓道は、1手、五人立、座射、競技の間合いで行射を行い、普段とは一味ちがった早朝のすがすがしい空気の中、参加者は真剣な眼差しで的にむかいました。

1時間で、一人6射、順立ちでいつもとは違った緊張感のなか、気持ちの良い汗をながしました。

初日は9名、2日目は16名、最終日は17名の参加者で稽古のあと、職場や次の行事に参加するため7時すぎには慌しく道場を後にしました。



■第65回 国民体育大会・少年の部 県最終選考会

6月20日（日）橿原公苑弓道場

参加者 女子18名 男子18名

近的12射・遠的 男子8射 女子4射（強風の為縮小）

★男子候補選手

丸 和浩（橿原） 高間 光司（橿原）

山本 雅也（橿原） 大庭 直樹（郡山）

津田 博由（橿原）

★女子候補選手

竹花 愛（高田商） 生田 瑞貴（高田商）

加藤 美緒（橿原） 横谷 奈津希（西の京）

峠谷 亜由（奈良大附属）

2月の学年別新人大会から今回の最終選考会までの成績を考慮して決定。